

令和 6 年 7 月 17 日

報道機関 各位

将来の教員を志す鳥取県の高校生 132 名が、島根大学教育学部へ体験入学
【 7/29 】

◆本件のポイント！

- ・鳥取県教育委員会と島根大学教育学部が中心となって進めている「『未来の教師』育成プロジェクト」の一環として実施する企画。
- ・地元の出雲で教員になることを志望する高校生が、島根大学教育学部で講義などを体験。
- ・鳥取県下 8 校(鳥取東、鳥取西、八頭、倉吉東、倉吉西、米子東、米子西、境)から、132 名もの高校生が参加予定。
- ・学びのテーマは「誰もが学びやすい学校を考える」。
- ・なお、8 月 9 日には、鳥取県教育委員会と連携して、鳥取県の高校生を対象とした体験入学プログラムを実施予定。

◆本件の概要

令和 6 年 7 月 29 日に、鳥取県教育委員会と島根大学教育学部が連携して実施している「『未来の教師』育成プロジェクト」の一環として、将来の教員を志す鳥取県内の高校生が、島根大学教育学部へ体験入学。

「誰もが学びやすい学校を考える」を学びのテーマに、小山穂菜美助教の授業を受講するほか、施設案内や質疑応答を通して現役大学生との交流も行う。

◆概要内容

- (1)日時 令和 6 年 7 月 29 日(月) 11 時 45 分から 15 時 30 分まで
- (2)会場 島根大学教育学部(20 番教室) 及び 松江キャンパス内
(松江市西川津町 1060)
- (3)主催 鳥取県教育委員会・島根大学教育学部・出雲教師教育コンソーシアム

◆本件の連絡先

島根大学 教育学部 附属教師教育研究センター

特任教授 吉田博幸

<TEL>0852-32-9866

<MAIL>hyoshida[at]edu.shimane-u.ac.jp ※[at]は@に置き換えてください

【添付資料: あり(2 枚) なし】

「『未来の教師』育成プロジェクト」

令和6年度 高校生の島根大学教育学部体験入学プログラムについて

島根大学教育学部高大接続プロジェクト

1 目的

(高校生)

- 島根大学教育学部の理解促進等による、教育学部進学者等の教職指向性の高い高校生の育成
- 大学の“知”に触れ、大学における学びに対する意識・意欲の向上
- 早期に教員採用試験情報を得ることによる、受験メリットの認識及び教員採用試験受験意欲の向上

(大学生)

- 教職を志望している高校生に対して、学内の案内や紹介をしたり、生徒からの質問に答えたりする中で、これまでの教職に向かう取組を振り返り、新たな気づきや学び、または課題に気づき、自分自身の成長につなげる。

2 日時 令和6年7月29日(月) 午前11時45分から午後3時30分まで

3 会場 島根大学教育学部(20番教室)及び松江キャンパス内

4 参加者

◆鳥取県

○高校生：132名 県教委4名、引率教員5名

拠点校	募集人数	拠点校	募集人数
鳥取東高等学校	20人	倉吉西高等学校	7人
鳥取西高等学校	20人	米子東高等学校	20人
八頭高等学校	15人	米子西高等学校	20人
倉吉東高等学校	15人	境高等学校	15人

◆島根大学

- 大学教員：川路、縄田、松尾、諸岡、津多、小山、村尾、吉田
- 大学生：「未来の教師」育成プロジェクトサポートスタッフ23名

5 日程及びプログラム内容

プログラム内容	時間	概要
施設案内・昼食	11:45	グループごとに移動します。
開会	13:15	大学等挨拶、グループ内自己紹介等
学びの体験 【メインプログラム】	13:20	<p>講師紹介・説明等 グループワーク(事前課題に基づくグループワーク)</p> <p>テーマ「誰もが学びやすい学校を考える」 授業者 小山穂菜美 先生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの多様性を知る ・多様な子どもたちが学びやすい学校を考える ※タブレット端末を活用した議論等を実施 <p>関連講義</p> <p>講義「インクルーシブ教育システムと特別支援教育」 ・グループワークの活動を踏まえた講義等</p> <p>※大学入試及び教員採用試験における面接試験等の素養(理解力、判断力、表現力、課題分析力、論理的思考力、協調性等)も意識した活動を体験します。</p>

		※参加した高校生が学校間の垣根を越えて交流できるプログラムです。
休憩 14:20～14:30		
教育学部・入試等に関する質問	14:30	事前に教育学部案内・教育学入試説明動画を視聴し、質問等を大学生や大学教授等へ行うことができます。
教員採用試験情報	15:15	鳥取県教育委員会からの教員採用試験に関する情報提供
閉会	15:30	事務連絡

【施設案内・昼食について】（90分）

- ◆はじめに施設を案内するグループと昼食をとるグループの2つに分ける。概ね45分ずつとする。
- ◆施設は、図書館、ミュージアム、学生研、研究室等松江キャンパス内の施設とする。予め学生が案内の計画をたて、説明できるように準備しておく。
- ◆昼食は担当学生と生徒で、コミュニケーションをとりながら、楽しく過ごす。